



平成27年度地区役員
 総務・墓地 樋渡義幸
 公民館会計 早川邦雄
 副地区長 坂田利男
 地区長 神谷修二
 公民館長 西尾孝
 地区会計 早川金一



平成27年度組長
 1組組長 近藤守
 2組組長 村田安隆
 3組組長 湯村雅之
 4組組長 近藤浩二
 5組組長 児塚一己
 6組組長 早川望
 7組組長 月脚治隆
 8組組長 近藤隆治
 9組組長 江頭祐一
 10組組長 近藤久義
 11組組長 依田富夫
 12組組長 石川明美
 欠席 欠席

東境地区長 神谷修二
 陽春の候、町内の皆様方におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。二十七年年度地区長を仰せつかり、大変身の引き締まる想いであります。公民館長を経験して自治会の大切さ、大変さを感じております。全力で頑張つて参

就任あいさつ

突然の就任要請をいただき戸惑いがありました。地域への奉仕と認識し、お引き受けしました。微力ではありますが、頑張りますので、皆様のご支援ご協力をお願い申し上げます。

公民館長 西尾孝



発行 平成27年4月1日
 東境自治会広報委員会
 連絡先 東境市民館

平成27年度 東境町公職者・各団体代表者

役職・氏名	役職・氏名	役職・氏名
刈谷市議会議員 前田 秀文	刈谷市少年補導委員 永田 俊正	土地改良 相談役 丹村 郁朗
地区相談役(前地区長) 新村 健治	刈谷市青少年育成 野々山 富士江	東境管理区 管理区長 神谷 三郎
民生・児童委員 近藤 和昭	市民運動推進員 濱田 春夫	副管理区長 坂田 広
鈴木 廣始	保護司 野々山 正博	会計 石川 俊美
近藤 由紀子	佐野 淑子	理事 近藤 勝行
坂田 広子	西尾 實千恵	理事 近藤 文明
近藤 麻由美	近藤 幸子	理事 野々山 厚
神谷 正弘	近藤 明美	監事 丹村 昇孝
東境防犯 隊長 花井 芳明	丹村 厚子	監事 野々山 豊彦
パトロール隊 副隊長 近藤 勝美	細井 さよみ	管理区長 榊原 光昭
副隊長 鎌本 英輝	東光クラブ 東クラブ会長 近藤 正英	副管理区長 神谷 教雄
事務長 筒井 良昭	代表会長 西クラブ会長 花井 芳明	会計 丹村 昇
刈谷市スポーツ 布目 博康	南クラブ会長 近藤 正則	書記 野々山 聡
推進委員 近藤 義夫	北クラブ会長 西尾 義三	JAあいち中央 刈谷北部支店長 杉浦 義彦
氏子総代 野々山 英明	東境町美会 代表世話人 近藤 竹文	会長 早川 昭子
榊原 行久	世話人 近藤 桂	副会長 石川 美恵子
近藤 賢治	事務局 近藤 義則	会計 村井 秀子
村瀬 敏夫	東境同志会 会長 坂口 初男	書記 早川 ひとみ
刈谷市消防団 分団長 野々山 幹高	副会長 里中 静夫	東境子ども会 代表理事 古小高 典江
第19分団 副分団長 河合 浩二	副会長 辻 正美	地区理事 瀬戸川 あかね
部長 中谷 元裕	副会長 鎌本 啓司	東組会長 井坂 紀子
班長 近藤 久峰	副会長 吉村 隆男	西組会長 近藤 幸子
農業委員 丹村 昇	東境だより広報 代表 野々山 秀次	南組会長 岡本 恵真美
近藤 勝行	東境自主防災会 会長 中島 満男	北組会長 信岡 静香
神谷 安子	児山高山自治会 会長 坂田 広	地区用務員 石川 和希

ショップーやまね
 TEL 36-5456
お知らせ
 営業時間 - あさ9:30~よる7:30 -
 定休日 - 日曜日
 当店自慢の、手作り惣菜バイキング実施中。

名物ろばた
づぼらや
 営業時間 昼 11:30~1:30
 夕方 5:00~夜11:00
 TEL 0566-36-6040
 飲んで 歌って 楽しく
Wai Wai もよろしく

東境町の坂田建築
 新築 リフォーム 建築一般 太陽光発電
お気軽に何でも 相談にきてネ!!
 建設業許可 愛知県(般-21)第57823号
 〒448-0007 刈谷市東境町児山351
 TEL 事務所(0566) 36-6178

ボランティア団体の紹介

『鎌倉街道を守る会』

『鎌倉街道を守る会』は、祖母神社境内に現存する鎌倉街道伝承地（昭和46年12月刈谷市文化財に指定）の維持・保存を目的として、平成2年6月に発足し、現在会員24名で活動している団体です。

鎌倉街道は、建久年間に「源頼朝」が鎌倉に幕府を置くことにより、経済・文化の中心地である京都と鎌倉を結ぶ重要な街道として整備され、その役割を担ってきました。



鎌倉街道伝承地碑辺りの清掃活動（H. 27. 3. 29）

しかし、慶長6年、「徳川家康」が、東海道を官道として、

「宿駅・伝馬制度」を設けました。このルートから外れた部分を、後世「鎌倉街道」と呼んでいます。



鎌倉街道の清掃

森の中の街道清掃

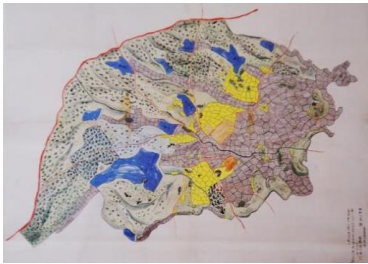
東境町内では、祖母神社北側から富士松図書館東側・住吉を経て竜ヶ根池堤防を通るルートが当時の街道と云われ、神社所在地の「町屋」、北隣の「奥町屋」の地名が往時の繁栄を偲ばせています。現在、会の活動は伝承地の清掃活動が中心ですが、今後は刈谷市の「元気な地域応援交付金事業」等を利用し、伝承地以外に町内にも点として残る遺跡に看板等を設置し、これらを結ぶ線を「歴史の散歩道」と名付け親しまれるようにして、守って行けたら幸いです。町内の皆様のご支援とご協力を心からお願いいたします。

東境の昔話

現存する東境の小字名について

東境名の起源は、境川の左岸を「境村」と呼びその東の集落であることから「東境」と呼んだとあります。応永16年（西暦1409年）正月「熊野檀那職譲状号」に「ひがしさい」と記載されているのが初見です。東境の小字名は、昭和43年7月、44年12月、50年12月に区画整理が行われ、地名が大きく変わりました。昭和44年5月には一部が西境に編入され、47年には今川に編入されるなどで3分の1の地名が無くなりました。（東境だより第6号参照）今回は、東境に古くから現存する「小字名」を調べてみました。

（参考文献）歴史を学ぶ会「椎」が発行の『刈谷の地名』



昭和8年頃の東境地図

町屋（まちや）

祖母神社の東あたりで、鎌倉街道に沿って栄えた集落です。古から商店があつたそうです。町屋や奥町屋は、氾濫し易い大きな川の近くにある町名です。

奥町屋（おくまちや）

町屋の北に位置し、町屋とともに栄えた集落です。

向イ郷（むかいごう）

「兎山」「高山」など、昔からの郷に対して向い側の位置にあつた集落なので、この地名が付いたようです。

「来岸寺」慶安2年（1649年）頃、東境の大檀那永田四良右門始め部落村民多数の信仰を得た仏堂がありました。この仏堂を改築、寺号を「来岸寺」として名古屋西光院から深空順了上人を迎え、浄土宗来岸寺の初代の基礎ができたそうです。

大坪（おおつぼ）

坪は、一般的に地目の広さの単位として田地畑に用いる地名です。大坪と云うからには、手広い面積だったのでしょうか。

松本（まつもと）

大きな松があつた所から付けられたと思われます。

曲り（まがり）

地形からして生じたと思われる。

飯島（いじま）

土地を共同開発した所に集落ができ、そこに使われた地名です。「家島」や「結島」などの転化も考えられる地名だそうです。

枅が原（いりがはら）

「枅」は、池などの土手の下に土管を埋め、水を出したり止めたりする装置（水門）のことを云います。この地にその水門があつたことから名付けられたと思われます。

兎山（こやま）

部落の中心地であり、小高い台地であつたから命名されたと思われれます。その昔、境川が氾濫したとき、兎山西の田んぼまで水が押し寄せましたが、兎山の台地に被害は無かつたそうです。旧公民館の筋向かい

に、刈谷藩の郷倉

や高札所

がありま

した。



旧郷倉跡の地区倉庫

【永源寺】元は天台宗で、大同3年（808年）最澄の高弟釈圓澄阿闍梨（延暦寺第2代管主）の開基と伝えられています。治承3年（1179

年)に兵火により焼失しました。松平太郎左衛門の菩提を弔うため再建し、嘉吉元年(1441年)曹洞宗に改宗されました。永源寺が最初に創建された場所は、現在の祖母神社の南東の地で鎌倉街道に沿っていましたが、享保8年(1723年)に現在の児山へ移転、再建されました。

【泉正寺】正平7年(1352年)に俣野入道が来村のおりに道場を開きました。その後、和泉倍正阿弥が天正中(1573)~1592年)武蔵国に布教中、東本願寺初代教如上人に帰依し、浄土真宗大谷派に転宗しました。

高山(たかやま) 当時は、部落で一番高い所であつたことから名が付いたと思われまます。



城の想像図

丸山(まるやま) この小高い地形から命名されたと考えられます。東境村誌に、「村の西南宇丸山、酒井与左右衛門古時城跡伝・・・」の記事があるようですが、城跡は見つかってはいません。南丸山(みなみまるやま) 「丸山」の南にあたることから付いたと思われまます。

登り坂(のぼりざか) この辺りは「高山」より高い丘陵地で、地形による命名と思われまます。唐池(からいけ) 水位が低下した際、水が無くなる池のことを意味することが多いそうです。空池から転じたものと思われまます。



西の交差点より

山畑(やまはた) 小高い山の中腹に開拓された畑であつたと思われまます。堀池(ほりいけ) 農耕のために切り開いた池がある所から命名されたと思われまます。

下池(しもいけ) 「児山」「高山」の下手の池と云う意味から生じた地名と思われまます。池田(いけだ) 池のそばにある田地と云う意味ですが、池のように深い田んぼと云う意味もあります。

間野四郎(まのしろう) 間野四郎池の名から付いたと思われまます。間野四郎が実在の人かどうか不明です。東境村古図によれば、間野四郎池は「馬代池」となつていいるそうです。

伊賀淵(いがぶち) 伊賀淵と云う池があつたが、埋められて今はありません。茂地(いもち)が伊賀淵に転じたと考えられ、茨や草木が生い茂つた池であつたのであろうと思われまます。東境村の古図には、「伊賀の久世池」の記載があります。

申塚(さるづか) この地の路傍に、庚申の石板がありました。庚申の日の禁忌行事を中心とする信仰が行われていきました。一般的には青面金剛童子が多く、現世利益をもたらすものとされ豊作を祈る神として祀られていきました。



申塚の庚申様

山ノ間下(やまのあいした) 「児山」「高山」の下に当る位置から付いたと思われまます。藪下(やぶした) 竹藪などが生えていた所の下の方の土地であつたことから付いたと思われまます。

大池(おおいけ) 岩ヶ池を昔から通称大池と呼んでいました。大池下辺りのことを云います。2級河川「発杭川」は、岩ヶ池を起点する河川で、刈谷市で始まり海に流れる唯一の河川です。

焼田(やけど) 焼畑による農業が行われていたことから付けられたと思われまます。この辺りは「浅間谷」と呼ばれており、明治の中頃の絵図には「浅間社の跡」が描かれています。「三州碧海郡境村地名寺社百姓略記」(泉正寺蔵)に次の記述があります。

岩ヶ池古は大池と呼び、又は加護池という。此の池の水尽きる事なく、村民を加護するゆえ也。又此の池より一つの岩を掘り出す。その形浅間菩薩に似たり。故に岩ヶ池と称し、池の側に浅間の社を築く。

石神(いしがみ) 石神は、奇石・霊石・石剣の類を神体として祀つた民間信仰の神のことを云います。石神信仰に基づく地名と思われまます。「石の神」とか「石亀」とも呼ばれていました。

松ヶ枝(まつがえ) 通称「松ヶ谷」と呼ばれたり「松ヶ崎」とも云われていたようです。古は、この辺りには松の大木が生い茂つていたと思われまます。



大松林

山之田(やまのた) 太平洋戦争の時、ここに高射砲陣地があつた所で、この辺り一帯は「陣地」と呼ばれていました。開墾の際、偶然に古窯跡が発見され、出土の古陶器は刈谷市の文化財になつていいます。山中に開墾された畑であつたことから付けられたと思われまます。

新林(しんばやし) 山に木を多く植えたことから呼ばれるようになったのではないかと云われておりまます。知立市にもこの新林と云う町名があります。

現在の東境町は、土地改良や区画整理によつて旧小字名が統廃合されたり、新しい字名が付けれられております。昔からある小字名は、それなりに「昔の言い伝え」があり古の名残りが残ります。何時かは、その言い伝えも忘れ去られていくでしょう。しかし、現世の人々によつて後世に引き継いで欲しいのが、「東境の昔話」と「小字名」の言い伝えであります。(了)

文責 野々山 秀次

※ 東境には、まだまだ隠れた「昔話」があるかと思ひまます。歴史に基づくお話等であれば投稿、若しくは教えてくださいますようお願いいたします。

富士中科学部が快挙

トピックス

富士松中学校が第55回自然科学観察コンクールに応募したところ、中学校の部4756点の中から最優秀に選ばれ、文部科学大臣賞を受賞しました。

研究テーマは、「バスケットボールのシュートの研究〜どうしてネットはひっくり返るのか〜」です。科学部バスケットボール班の3年生、2年生、1年生の8人が研究しました。

バスケットボールをシュートしたとき、リングに当たらずきれいにシュートが決まると、ネットが上に向けてひっくり返ることがあります。その不思議さについて研究したものです。

活躍する富士中吹奏楽部

第57回中部日本重奏・個人コンテスト西三河南大会

- 金賞・サクソフォン四重奏
 - 銀賞・クラリネット四重奏
 - 銀賞・フルート四重奏
 - 金賞・マリimba独奏 県大会へ
 - 銀賞・トロンボーン独奏
 - 銀賞・オーボエ独奏
- 平成26年度愛知県アンサンブルコンテスト県大会
銀賞・金管五重奏

平成26年度後期地区行事

戦没者慰霊祭

2月7日 大平洋戦争の戦死者を偲んで遺族・地区役員・公職者代表が出席して実施されました。

東境自治会総会

3月1日 平成26年度の自治会役員（地区役員・組長・班長）により議案が審議され、全議案が承認されました。



平成26年度総会風景

27年度地区役員については1面に掲載いたしました。

東境町クリーン作戦

3月8日 晴天の下、早朝より地区の方、地元各会社・商店・学校など総勢600名を超える人々の協力で実施され、空缶・不法投棄物・ゴミ・空ビンなどが回収されました。



集まった不法投棄ゴミ

各団体活動報告

児山高山自治会総会

3月1日 平成26年度の活動と成果が報告されました。続いて27年度の活動計画が示され、拍手で承認されました。27年度の会長には坂田広さんが選ばれました。

東光クラブ総会

3月15日 平成26年度の活動報告と平成27年度の計画及び役員選出が行われ、承認されました。



27年度会長



27年度副会長

- 右から
東クラブ会長 近藤正英
西クラブ会長 花井芳明
(代表会長)
南クラブ会長 近藤正則
北クラブ会長 西尾義三
- 右から
東クラブ副会長 岡本和子
西クラブ副会長 野々山弘子
(市老連女性部長)
南クラブ副会長 神谷穂子
北クラブ副会長 坂田和枝
- 懇談やカラオケ大会で楽しい一日を過ごされました。

編集後記

パナソニック㈱は昨年11月から、2年ぶりに紙の社内報を復活させました。「電子化されて読まなくなつた」との意見が続出したためです。確かに電子版は、瞬時に多くの情報を送れます。しかし、手元に残る情報紙は、何度も読み返しますが、パソコンの記事を読み返す人は何人いるでしょうか。パソコンに馴れたパナソニック社員がその例のひとつです。また、パソコンを利用しない方々への対処も考えなければなりません。

地区は、回覧板を廻すのは効果的ではないとされています。最近、地域の絆が薄れつつあります。回覧板を廻すことこそ、地域の絆を築くひとつの方法であります。あらゆる事を考え、回覧板がうまく廻る方法を創り出すことも必要ではないでしょうか。勿論、時代に合った広報を試行するのも大切です。

東境自治会広報委員会

- 鈴木 廣 始
深尾 保 明
石原 一 之
神谷 正 弘
野々山 秀 次



春の東境丘陵地

広告掲載者

募集中

「東境だより」のページに広告を載せていただける方を募集中!! 連絡をお待ちしています。



春の岩ヶ池周遊道

